

# モノレールを呼ぼう 瑞穂の会の 皆さん



## 町議会

令和4年10月に多摩都市モノレールの延伸(上北台→箱根ヶ崎)計画および関連する都市計画道路の都市計画素案説明会が開催され、モノレール延伸が進み始めました。その中で、モノレールを呼ぼう瑞穂の会役員の皆さんの活動は、計画が動き出す上で大きな影響があったと言えます。今回、モノレールを呼ぼう瑞穂の会の皆さんからお話を伺いました。なお、今年の3月末の時点で、個人会員166名、賛助会員28(団体・個人)、応援会員210名です。



「モノレールを心から待ち望んでいる人が知りなじと/orid  
たくさんいるんだなあ」とて実感しました。

### Q 会発足の経緯は?

—町民の声が東京都を動かす原動力になると議員から聞き、箱根ヶ崎・石畑・殿ヶ谷の3地区の有志ら名が集まり有志の会をスタートしました。  
—会の設立など経験が無くて…初めは無我夢中…他市に行って聞き回っていました。それで、たくさん署名をもって小池都知事に届けようとしてつとになりました。  
—箱根ヶ崎駅で声を掛けた署名をやりました。  
—町内会連合会や企業にも直接出向いてお願いしました。

### Q 入会のきっかけを教えてください。

—地域の議員に「町に貢献したつて気持ちがある名を集め、2019年4月、小池都知事に無事提出きました。  
—その後、武藏野・元狭山・長岡の3地区からも続々と有志が集まり「モノレールを呼ぼう瑞穂の会準備会を設立しました。  
—準備会設立後、周知活動や会員募集も行って、2020年にモノレールを呼ぼう瑞穂の会の設立式典を行うことができました。

—「ね」つて言わせて…(笑)。  
—私も議員から「お願い」って頼まれました(笑)。  
—ひょっとすると自分は乗れないかもしないけど、年を重ねてきた自分が子どもや孫に何か残せるものはないかと思いました。やるからには町全体の活動にしなくてはならないと思って参加しました。  
—元狭山地区はモノレールから遠いけど、町全体の活性化が元狭山の活性化につながると思いました。

### Q 会の主な活動内容は?

—今年に入つてはO-HAKO、さくらウォーク、残堀川ふれあいイベント、武藏野コミセンまつりなどで啓発活動をしました。  
—私はそこで缶バッジを作つていました。子どもたちがとても喜んでくれて…缶バッジおじさんと呼ばれています(笑)。  
—ホームページで活動の内容を報告しつづけます。  
<https://www.monomizaho.com/>



### Q 入会して良かったことは?

—「口ロナ感染の影響で活動が制限されました。「出はなをくじかけた」って感じでした。  
—会員をたくさん集めようと会費を取らずに募集中して1200名ぐらい集めました。ところが…会員が多いと連絡するための郵便費用などが多く掛かってしまい(汗)…やむなく規約を改定して年間千円の会費に変更しました。

### Q 入会して良かったことはありますか?

—モノレールが瑞穂に来るといふにワクワクを感じます。  
—この活動は自分の世代よりも、子どもや孫の世代のためにやっていると感じられるというかなあ。  
—アボなしで会社に伺ったときもあって…皆さん喜んで協力してくれました。モノレールを中心待ち望んでいる人が知らないところでたくさんいるだなあ」って実感しました。



### Q モノレール延伸に期待するところは?

—モノレールは目的ではなく手段。瑞穂町が発展するためのまちづくりが重要。  
—瑞穂町の良さといふが伝わると思います。  
—早く来ないと…乗れないかも笑)。それまで、元気に過ごしました。  
—「モノレールを呼んじゃつただけの会」と、言われないようにまちづくりを頑張つてもいいたい。  
—箱根ヶ崎が終着点でなく、羽村・あきる野・八王子方面の延伸も期待したい。

### Q 何か伝えたいことはありますか?

—モノレールに乗るまで頑張りたい…皆さんも箱根ヶ崎からモノレールに乗れるまで健康でいましょう。  
—高校生にモノレールの話をするとき興味をもつてくれます。子どもたちのため、将来のために一緒に頑張りましょう。入会お待ちしています。

—モノレールを呼ぶためには用地を提供してもらわなければなりません。住み慣れた場所から離れることになると想つじ心苦しく、申し訳ない気持ちになります。町や議会の皆さんには、その方たちに寄り添つてサポートしてほしい。

「協力ありがとうございました。」



子どもたちのために頑張りたい  
と語る  
金井 雄一監事

モノレールが来て  
どうつなげていく  
かが重要と語る  
吉野 修監事

元狭山の発展に  
もつながると参加  
した  
池谷 功会計

ホームページを  
管理して啓発に  
力を入れる  
福島 政夫副会長

缶バッジおじさん  
として子どもたち  
から慕われる  
小沼 修副会長

駅、自治会、企業  
と署名活動に奔走  
した  
吉岡 源藏副会長

やるからには町全  
体の会にしたいと  
会長を引き受けた  
小峰 安房会長

